

**「第8次旭川市総合計画基本計画見直しの考え方（素案）」に対する
旭川市総合計画審議会令和5年度第1回会議からの意見について**

1 見直しの視点に関する主な意見

| 項目 | | 意見の内容 | 意見の取扱い |
|----------------------|--------------------------|---|---|
| (1) 都市像の実現に向けての重点テーマ | | | |
| (2) 基本政策 | ア 新型コロナウイルスの感染拡大の影響からの回復 | <ul style="list-style-type: none"> ● 観光施策について、イベントなどしっかり対応してもらいたい。 ● 観光で来られた方の足の確保というか、DXを活用し、観光で来られた方に、有益な交通網の選択手段を確保するなど、市が主導で行ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 3段落目中 「～、新型コロナウイルス感染症終息後の観光需要を見据えた観光受入体制の充実についての検討など、～」を 「～、<u>イベント開催への対応や、観光客向けの交通手段の確保等</u>、新型コロナウイルス感染症終息後の観光需要を見据えた受入体制の充実についての検討など、～」に修正します。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ● 経済の回復のときに、コロナ禍で受けた融資の返済時期に入っている各中小企業に対する対策をしっかり行ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 今後の取組の参考とさせていただきます。 |

| | | | |
|--|---------------------|---|---|
| | <p>イ いじめ防止対策の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 父兄と学校だけの対応だけではない、全体的に対応できるような組織を考えていければよいと思った。 ● 抜本的なところから見直していく必要があるかもしれない、難しいと思うが1件でも2件でもいじめがなくなるように環境を整備してもらいたい。 ● 窓口があってもアクセスができないことに課題がある。困ったときに始めて探すのではなく、普段目に触れておける場所で周知するということも必要である。 ● 起きる前のフォローも必要である。 ● 電話ダイヤルに電話をかけた後の対応を知りたいというのは、今後の広報などの参考となる。 ● 教員のサポートや責任が起きないような仕組みも必要であると思う。教員の負担軽減、精神的なサポートもセットでやってもらいたい。 ● 世代ごとに、どういった家庭かを踏まえてサポート体制を整えてほしい。 ● いじめでトラウマがあると、その先に社会に出られなくなることが考えられる。トラウマのケアが必要で、安心して過ごせる居場所を提供することが大事であると思う。 ● 不登校の子の居場所づくりが必要である。 ● アメリカでは、いじめた方にカウンセリングをすると聞く。いじめる側の家庭環境も9割方影響しているという結果も出ている。いじめる方 | <p>○ 1行目中</p> <p>「いじめから子どもの生命と尊厳を守るため、再発防止対策が非常に重要である。」を</p> <p>「いじめから子どもの生命と尊厳を守るため、<u>安心して相談することができる窓口や、地域住民の協力も得ながら、いじめの未然防止・早期発見・早期対応・早期解決を目指した体制を整備するほか、不登校となった場合のケアやサポート、いじめを行った児童生徒への対応も含めたきめ細やかな対応、教職員を含めた学校への支援など、再発防止対策が非常に重要である。</u>」に修正します。</p> |
|--|---------------------|---|---|

| | | | |
|--|------------------|---|---|
| | | <p>にも目を向けることが重要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いじめ防止対策については、SNSのつながりも含めて、市として中学生までのことを考えてもらいたい。 ● 教育の在り方そのものを変えていくことが必要で、通信の在り方など学びの場を自治体として提供できるとよいと思う。 ● 発達に問題のある子がいじめの標的になりやすく、そのような子もいるということを小さい頃から伝えていくことで、心遣いができるようになる。 | <p>○ 今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |
| | ウ 健福祉都市に向けた取組の推進 | <ul style="list-style-type: none"> ● 健康とはどういう状態をいうのかはそれぞれ考え方が異なるため、それぞれのアプローチが必要である。 | <p>○ 2段落目中、 「～、健康寿命の延伸と健康格差の縮小は大きな課題である。」を 「～、健康寿命の延伸と健康格差の縮小は大きな課題であり、<u>健福祉都市を目指す本市としても、人と人とのつながりやスポーツ文化推進など、様々なアプローチにより効果的な施策につなげる必要がある。</u>」に修正します。</p> |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ● 介護サービス施設の新規開設について、市独自で何らかのルールが必要ではないか。 ● 訪問介護事業所を安定して維持していくため、介護保険の地域加算について、市でも検討してもらいたいと考える。 | <p>○ 今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| | | | |
|--|--------------------------------|---|---|
| | <p>エ 旭川市地域共生社会の実現に向けた施策の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりという中で、小学生、学校の先生、教授など様々な方がまちづくりの中で事業を行いながら、市民委員会、町内会を活性化していく必要がある。 ● 旭川市も、補助金の交付だけでなく、企画立案の段階からの協力体制が必要と思う。各地区での課題があるので、課題を取り上げて盛り上げる施策をしていただければと思う。 ● 地域の自治ができないことは問題である。情報を発信しながら利用できるような環境を作っていければと思う。 | <p>○ 2段落目中、 「また、令和4年4月1日には、「旭川市地域共生社会の実現に向けた施策の推進に関する条例」を施行しているほか、3(1)で述べたように、町内会役員や民生委員児童委員の負担軽減の取組も進めており、～」を 「また、令和4年4月1日には、「旭川市地域共生社会の実現に向けた施策の推進に関する条例」を施行し、<u>市、社会福祉協議会、関係団体、地域活動団体、事業者、市民がそれぞれの役割のもと、福祉、保健、医療、市民生活、人権、教育、文化、スポーツなど多様な分野で連携して、地域共生社会の実現に向けて施策を推進している。さらには、地域共生社会の重要な担い手である町内会等を活性化させる取組の更なる充実も必要であることから、</u>3(1)で述べたように、町内会役員や民生委員児童委員の負担軽減の取組も進めており、～」に修正します。</p> |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ● 様々な課題への支援も、ご高齢の方だけの集まりではなく、学生も入り、動機付けを行うなど、それぞれの機関が呼び掛けをすることもよいと思う。 ● 地域のイベントへの参加など、市内の教育機関とのコラボというものも採り入れてもらえればと思う。 | <p>○ 今後の取組の参考とさせていただきます。</p> |

| | | | |
|--|--------------------|---|---|
| | <p>オ 旭川市立大学の開学</p> | <ul style="list-style-type: none"> ● 旭川市立大学にデザインの要素を採り入れた学部が創設されるというが、デザイン思考を持った人材の育成は、今後重要になってくる。 ● 他学間の交流が学生にとって大事であると思う。旭川市立大学では、学部が多いことの魅力を打ち出していくことができるよと思う。 ● ものづくりは、旭川の弱いところであり、いかに盛り上げるかを考えたい。それによって地域に残る、地域の中で見つけることで、若者が増えていく、教育の中に入っていれば、入りやすいだろうし、新しい形の仕組みを、旭川市立大学、旭川高専などで大学を中心に作ることであればよいと思っている。大きな意味での旭川のキーワードになるデザインということで、学科を作っていたら面白と思う。 ● 旭川市に子どもたちを残すための取組を旭川公立大学を中心にして組み立てることも考えられる。旭川はICTパークなどDXの中心となるべき組織もあるので、市を挙げてまちづくりをしていくというような形になれば、それこそ面白い。 ● 大学は外から人が入ってくるので、いろいろな良い大学もあり、外に出さない、多くの魅力を出すということが大事だと思う。 | <p>○ 2段落目中、</p> <p>「今後は、新学部の設置の検討など公立大学法人が推進する大学としての魅力の向上、更なる地域貢献につながる取組について～」を</p> <p>「今後は、新学部（<u>地域創造デザイン学部（仮称）</u>）の設置の検討など公立大学法人が推進する大学として、<u>全国から多くの若者を集め、地域で活躍する人材の育成・定着を図るとともに、これらの人材が活躍するデザイン創造都市の取組推進によるまちの魅力の向上や市内・児童生徒の支援等、次世代人材の育成など、更なる地域貢献につながる取組について、～</u>」に修正します。</p> |
|--|--------------------|---|---|